

## ワイヤーメッシュ柵・金網柵の設置及び管理のチェックシート

## 1 柵の設置場所について

- 見回りや草刈がしやすい場所ですか？ ⇨ 柵設置後の維持管理は、必須の作業です。
- 設置場所は、斜面（もしくは斜面と農地際）ではありませんか？ ⇨ 飛び越えて侵入されます。作付けを減らしてでも農地側に設置しましょう。
- 柵周辺に実のなる樹木（ドングリや柿等）はありませんか？ ⇨ イノシシ・シカを寄せ付ける要因となりますので、伐採しましょう。
- 柵から作物・果樹が出ていませんか？ ⇨ 柵から稲穂や実がでていと柵を破壊してでも侵入しようとします。
- 河川や水路からの侵入対策はできていますか？ ⇨ 河川や水路を通してイノシシが侵入してきますので、しっかり防ぎましょう。

## 2 柵の設置方法について

- ワイヤーメッシュの表裏を確認しましたか？ ⇨ 横線を農地側に設置します。
- 柵と地面（特に凹凸部や傾斜地）、柵と柵の間に隙間はありませんか？ ⇨ 小さな隙間でもそこを足掛かりとして徐々に隙間を広げていきます。  
**●隙間（特に地際）は絶対に塞ぐこと！**
- 柵と柵を結束する位置は高くありませんか？ ⇨ 結束した位置が地際から高すぎると突破されやすくなります。
- 柵と地面はアンカー・ペグ等でしっかり固定しましたか？ ⇨ もぐり込みの激しい場所は、丸太等で補強すると効果があります。

## 3 柵の維持管理について

- 集落で役割分担（全体責任者、見回り当番等）のルールができていますか？ ⇨ 定期的に柵の補修や補強、隙間の確認、草刈を行きましょう。
- 柵を破られた場合には、すぐ発見・補修する体制ができていますか？ ⇨ イノシシの侵入を防ぐため、小さな破損や隙間でもすぐ補修しましょう。
- 通路入口の門扉（特に冬期）は、しっかり閉じていますか？ ⇨ イノシシは、柵に沿って侵入経路を探します。  
「扉は必ず閉めてください」などの看板も有効です。
- 冬期になっても対策を継続していますか？ ⇨ 冬期のヒコバエ(2番穂)はイノシシやシカの絶好の餌となり、個体数増加の要因となります。



**●稲刈後ヒコバエが発生するまでに必ず耕起しましょう！**

**●また野菜収穫残さも働き込みましょう。**

●冬期の畦畔や道路脇の雑草（青草）は、餌不足で困っているイノシシやシカの重要な餌となります（イノシシも青草を食べることに注意）。

●9月半ばから11月の草刈は、雑草の再生を助長するので、この間の草刈は必要最小限にしましょう。

**●山に餌の少ない秋～冬期こそ対策を継続し、イノシシやシカを兵糧攻めにしよう！**